

科目名	商品企画開発		担当者名	香月光一(カツキウイチ)	
開講年次	2	開講時期	後期	クラス	
授業形態	演習	履修方法	選択	単位数	1
ナンバリング	D1070	該当DP	DP2,DP3		
授業概要	<p>本講座では、まず観光業界ではグローバルスタンダードになっている持続可能な観光ガイドライン(GSTC-D:Global Standard Tourism Council for Destenationsや日本版持続可能な観光ガイドラインJSTS-D:Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations)より、持続可能な観光について学びます。その後、身近な地域や出身地、モデル地区の観光コンテンツを造成する実習を行います。最終的には課題の観光コンテンツ造成をグループもしくは個人で行い、販売を意識したプレゼンテーションを行います。進捗状況により、旅行商品(国内・海外)企画についても講義します。</p> <p>特に卒業後、観光業界への就職希望者や起業、地域貢献を考えている方には、是非受講していただきたい内容です。</p>				
到達目標	<p>1.持続可能な観光モデル(GSTC-D、JSTS-D)を理解できる。</p> <p>2.観光地における、マーケティングやターゲティング、SWOT分析などを行い、観光コンテンツを企画できるようになる。</p> <p>3.パワーポイントを利用し、商品のプレゼンテーションを行える。</p> <p>4.企画した商品を、実際に商品化できる。</p>				
授業計画	回	授業内容		授業外学習(内容と時間)	
	1	オリエンテーション(授業の概要、進め方など)			
	2	観光の必要性とDMO(観光まちづくり法人)の役割		授業後の復習	30分
	3	持続可能な観光について(ガイドラインや先進地事例)		授業後の復習	60分
	4	出身地について考える(観光は?)		市場調査・情報収集	60分
	5	出身地紹介発表資料作成		発表資料整理	60分
	6	出身地紹介・発表(個人)		出身地レポート作成	60分
	7	観光地『折尾エリア』を考える		市場調査・情報収集	60分
	8	観光地『折尾エリア』コンテンツ造成(グループまたは個人)		発表資料整理	60分
	9	観光地『折尾エリア』の発表(グループまたは個人)		折尾レポート作成	60分
	10	商品化に向けた観光コンテンツ造成:関門海峡エリア①		市場調査・情報収集	60分
	11	商品化に向けた観光コンテンツ造成:関門海峡エリア②		市場調査・情報収集	60分
	12	グループワーク:観光コンテンツ造成(グループまたは個人)①		市場調査・情報収集	60分
	13	グループワーク:観光コンテンツ造成(グループまたは個人)②		資料整理、企画書の完成	60分
	14	グループワーク:観光コンテンツ造成(グループまたは個人)③		観光商品企画レポート提出	60分
15	グループワーク:観光コンテンツプレゼンテーション		講義を通しての振り返り	60分	
教科書	都度、必要資料を提供します。				
参考書	観光パンフレットやホームページ、観光に関するデータ等の情報に注意してください。				
成績評価	方法	割合	備考		
	受講態度	20%	積極的な授業参加を期待します。		
	レポート・課題	70%	旅行商品(3回)の企画内容を評価します。		
	プレゼンテーション	10%	プレゼンテーションの内容を評価します。		
履修上の注意	<p>・目頃より駅や観光案内所に設置している観光パンフレットやホームページ、観光に関するデータや報道等から、積極的に観光に関する情報収集に努めてください。</p> <p>・期末試験は行いません。通常の実習時の受講態度とディスカッション及びプレゼンテーション、レポートとして提出いただく観光商品の内容(販売を意識しているか、持続可能な商品か)で評価します。</p>				
実務経験との関連	旅行会社で38年旅行営業の実務を行い、企画作成や販売を行いました。また現在はDMO(観光地域づくり法人)に所属し、地域の魅力あるコンテンツ造成に勤めています。				
オフィスアワー		メールアドレス	koichi-katsuki@kanmon-dmo.org		